

釣り・原始釣り体験について

1. 目的

- ・釣りを通して、水辺で過ごすよさを感じ、自然に親しむ。
 - ・釣り道具の準備や片付け等を通して、段取りの大切さを実感する。
- ※「魚を釣る」ことが目的ではないので、釣れたかどうかよりも活動を通して、自然のよさや準備の大切を感じ取れるようにすること。(天候や気温、潮の具合などにより、釣れないことは多々あります。)

2. ネイパルで体験可能な釣り

釣り	対象魚	メリット	デメリット
ルアー釣り ※貸出 有料	カジカ ソイ など	・にせのエサ(ルアー)を使う釣り。 イソメなどの生きたエサを触ることが 苦手な人でも体験できる。	・ネイパルから離れた常呂漁港の方が釣れやすい。 (栄浦漁港で釣れない訳ではない。) ・リール、ルアーを使う釣りなので、リールの操作 方法やルアー(ワームとジグヘッド)のセッ ティング方法を知ることが必要。
サビキ 釣り	チカ ニシン など	・ネイパル近くの栄浦漁港で釣りやすい。 ・リールを使わない。	・針、おもりなどの仕掛けとエサは持参が必要。
原始釣り (竿は木の 枝)	チカ ニシン など	・ネイパル近くの栄浦漁港で釣りやすい。 ・リールを使わない。	・針、おもりなどの仕掛けとエサは持参が必要。

3. 事前準備

(1) 用具の準備

【どの釣りでも準備が必要なもの】

- 野外での活動(釣り)に適した服装や靴 帽子 救急道具 はさみ タオル・雑巾

【あると便利なもの】

- 魚つかみ 針外し 予備の仕掛け ウェットティッシュ 水(ペットボトル等)
 ゴミ袋 雨具 サングラス 軍手やゴム手袋

【釣り別の用具】

	ネイパルで用意可能(一部有料)	個人・団体で準備
ルアー 釣り ※有料	※ <input type="checkbox"/> 竿(ルアー用) ※ <input type="checkbox"/> リール ※ <input type="checkbox"/> ルアー(ワーム、ジグヘッド) <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input type="checkbox"/> バケツ	無し ※エサ(イソメやいかの塩辛など)を用意すると 釣れる確率が上がります。
サビキ 釣り	<input type="checkbox"/> 竿(延べ竿) <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input type="checkbox"/> バケツ	<input type="checkbox"/> 仕掛け(サビキ釣り用・チカ釣り用) <input type="checkbox"/> おもり <input type="checkbox"/> みち系 <input type="checkbox"/> エサ(オキアミやサシなど)
原始釣り	<input type="checkbox"/> 原始釣り用の竿(木の枝) <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input type="checkbox"/> バケツ	<input type="checkbox"/> 仕掛け(サビキ釣り用・チカ釣り用) <input type="checkbox"/> おもり <input type="checkbox"/> みち系 <input type="checkbox"/> えさ(オキアミやサシなど)

※水辺で安全に活動をするために、ライフジャケットは必ず着用してください。

(2) 現地下見

- ・ 柴浦漁港、常呂漁港は工事などがあり、区域によって立ち入りが制限される場合があるため、事前の下見が必要。

(3) 情報収集

- ・ 引率者は、釣り方や用具の使い方、系の結び方を事前に調べ、指導できるようにしておく。
- ・ 事前に、当日の天気や潮位を確認する。

4. 活動の流れ

(1) 事前指導 (引率者)

- ・ 釣り方や釣りのマナー
- ・ 仕掛けの付け方、エサの付け方、針の外し方、系の結び方
- ・ 釣り場までの移動の方法、危険箇所、トイレの位置

(2) 用具貸出 (ネイパル職員)

- ・ 職員と用具の確認 (事前に破損がないかを確認する)

(3) 漁港へ移動 (引率者)

- ・ 柴浦漁港～ネイパルから徒歩で30分ほど
- ・ 常呂漁港～ネイパルから車で15分ほど

※徒歩や自転車で移動する場合、危機管理・破損防止の観点から、道具類は引率者が車等で運搬する。

(4) 魚釣り体験実施 (引率者)

※引率者は安全管理をしっかりと行う。(ライフジャケットの着用確認など)

(5) ふりかえり (引率者)

(6) ネイパルへ移動後、片付け (用具の手入れと整理) をして返却 (引率者)

5. 片付け (用具の手入れと整理)

(1) ライフジャケットは、ハンガーにかけ、チャックをしたあと、元の場所に戻す。

(2) 系や仕掛けなどは外し、竿やリール、バケツなどは水拭きして返却する。

※道具に汚れや破損がないか職員と確認する。

(3) 釣り竿、リールが故障、破損した場合はネイパル職員に申し出る。

6. その他

(1) 漁港は「漁師さんの仕事場」であることを忘れず、作業の邪魔をしないことはもちろん、汚したりゴミを残したりしないこと。漁船が近くを通ることがあるので、釣り糸が船に巻き込まれないよう配慮すること。

(2) 釣り針は返しがついているので体に刺さると簡単には抜くことができない。針の扱いに十分注意し、万が一体に刺さった場合は無理に抜こうとせず病院に行くこと。

(3) 引率者は、活動場所の下見や実施判断を必ず行う。

(4) 雷が鳴った場合や天候が急変した場合は、速やかに活動を中止し、避難する。

(5) 熱中症に備え、帽子着用や水分補給を徹底する。

(6) 釣った魚をネイパル北見の野外炊飯場で調理し、食べることはできない。